

2014 Interim Business Report

第13期中間ビジネスレポート

2013年4月1日 » 2013年9月30日



DRECOM[®]
with entertainment

証券コード：3793

株式会社ドリコム

<http://www.drecom.co.jp/>



ごあいさつ

代表取締役社長
内藤 裕紀

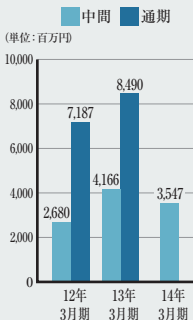


株主のみなさまには日頃より温かいご支援をいただき、ありがとうございます。2014年3月期上期の事業概況について、ご報告させていただきます。

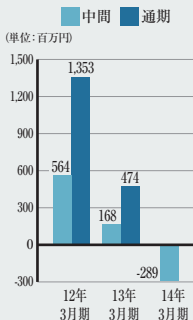
当中間期における我が国の経済は、円高修正と株価上昇による景況感の改善を背景に、景気回復の兆しがうかがえる状況が続いております。ただ、欧州経済の停滞や新興国経済の下振れ懸念もあり、依然として先行きに予断を許さない状況は続いております。

インターネットビジネスを取り巻く環境は、引き続き著しいスピードで変化をしています。なかでも、スマートフォンの普及の影響は大きく、当社の主力事業であるソーシャルゲーム市場において、市場と機会の双方が拡大しております。平成25年度情報通信白書によると、平成27年度の国内向けスマートフォン出荷台数

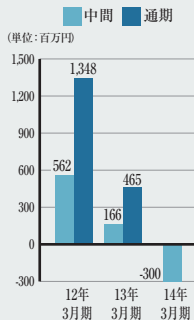
売上高



営業利益



経常利益



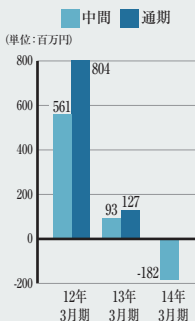
は3,700万台に至り、携帯電話の総出荷台数3,950万台の9割を上回ると予測されています。スマートフォンの普及は引き続き加速しつつあります。

このような環境の中、当社は、引き続きスマートフォン向けに注力しております。ソーシャルゲーム事業では、新ゲームをリリースしたほか、今下期以降のリリースに向けた開発を進めました。ソーシャルラーニング事業では第1四半期にiOS向けアプリをリリースし、その運用とともに、AndroidOS対応に向けた開発を行っております。アドソリューション事業においてはスマートフォン向けサービスを開始しました。しかしながら、ソーシャルラーニング事業、アドソリューション事業は事業開発段階にあり、収益の主力となるソーシャルゲーム事業で、市場環境の変化とリリースからの経年とが相俟って既存ゲームに軟調な推移が続き、また新ゲームでユーザーから十分な支持を得るに至らず、当初の計画を下回りました。

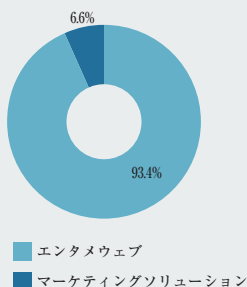
この結果、当中間期における売上高は3,547,212千円（前年同期比14.9%減）となりました。利益面につきましては、営業損失289,954千円（前年同期は営業利益168,816千円）、経常損失300,094千円（前年同期は経常利益166,595千円）、中間期純損失182,145千円（前年同期は中間期純利益93,078千円）となりました。

経済的には不透明な状況の中、インターネットサービスにおいてもデバイスの変化による市場環境の変化が続いていますが、これからもコミュニケーションを中心としたインターネットサービスを生み出し続けられるよう、邁進してまいります。今後もより一層のご支援をお願いいたします。

純利益



セグメント別売上高構成比



事業概要

ドリコムは、ソーシャルを軸とした3領域の事業で構成されています。ソーシャルゲームが売上をけん引する主力事業となっています。

ソーシャル×ゲーム



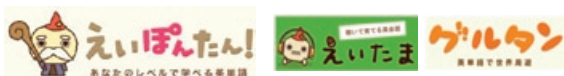
ソーシャルゲーム事業では、携帯電話を使って遊べるゲームを企画開発しています。スマートフォンの普及に伴い、スマートフォンでの使い心地を重視したゲームの開発に取り組んでおります。利用者の動向を常に分析することで、市場環境に適切に把握するばかりでなく、面白さを継続的に提供できるゲーム作りを行っております。この結果、まもなくリリースから3年が経過するゲームにおいても利用状況は活性化しており、長く愛されるゲームの提供ができています。

ソーシャル×広告



アドソリューション事業では、独自のリワード広告サービスを展開しています。これまでの主力であった動画広告の展開に加えて、スマートフォン向けの広告商品を新たに企画し、開発を進めています。ブースト型と呼ばれる利用者にインセンティブを与え、ランキングを上げてユーザーを獲得する仕組みでサービスを提供しております。9月に本格スタートながら引き合いは強く、滑り出しは順調に進んでおります。

ソーシャル×教育



※当事業は投資段階であり業績への影響は軽微です

ソーシャルラーニング事業では、iPhoneやiPadでお使いいただける英語学習アプリを企画開発しております。社会人になってからの資格取得などの勉強は意欲を保ちにくい状況があります。当社の提供するアプリでは、同じアプリを使っている人とコミュニケーションを取ったり、どれだけ学習したかを比べることができます。競い合い、励まし合う仲間がいることで学習が継続し、これまで本事業で提供するアプリ上で利用者が解いた問題数は10億問を超えております。

中間財務諸表 (要約)

中間貸借対照表		(単位：千円)	
	前期末 2013年 3月31日現在	当中間期末 2013年 9月30日現在	
【資産の部】			
流動資産	3,708,463	3,774,446	
固定資産	835,016	1,061,076	
有形固定資産	147,981	134,726	
無形固定資産	327,775	522,611	
投資その他の資産	359,260	403,738	
資産合計	4,543,480	4,835,522	
【負債の部】			
流動負債	1,835,293	2,054,148	
固定負債	444,765	681,957	
負債合計	2,280,059	2,736,106	
【純資産の部】			
株主資本	2,195,195	2,020,626	
純資産合計	2,263,421	2,099,416	
負債純資産合計	4,543,480	4,835,522	

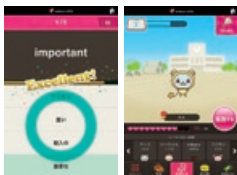
中間損益計算書		(単位：千円)	
	前中間期 (累計) 自2012年4月1日 至2012年9月30日	当中間期 (累計) 自2013年4月1日 至2013年9月30日	
売上高	4,166,120	3,547,212	
売上原価	2,647,462	2,681,088	
売上総利益	1,518,657	866,123	
販売費及び一般管理費	1,349,841	1,156,077	
営業利益又は営業損失 (△)	168,816	△289,954	
営業外収益	3,772	815	
営業外費用	5,993	10,955	
経常利益又は経常損失 (△)	166,595	△300,094	
特別利益	10,417	-	
特別損失	160	6,000	
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	176,853	△306,094	
法人税、住民税及び事業税	96,037	436	
法人税等調整額	△12,262	△124,384	
中間純利益又は中間純損失 (△)	93,078	△182,145	

中間キャッシュ・フロー計算書		(単位：千円)	
	前中間期 (累計) 自2012年4月1日 至2012年9月30日	当中間期 (累計) 自2013年4月1日 至2013年9月30日	
営業活動によるキャッシュ・フロー	96,194	△80,195	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△355,845	△369,382	
財務活動によるキャッシュ・フロー	236,936	707,240	
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△22,714	257,661	
現金及び現金同等物の期首残高	1,911,296	2,129,042	
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,888,581	2,386,704	

当中間期の取り組み

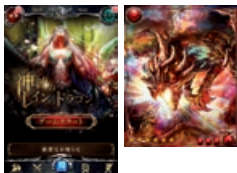
4月 『えいぼんたん！ あなたのレベルで 学べる英単語』 リリース

ソーシャルラーニング事業の第3弾アプリとしてリリース。自分のレベルに合わせて問題が出題される仕組みを取り入れ、自分のペースで学習を進められます。



5月 『神縛（しんぱく）の レインオブドラゴン』 リリース

2012年11月にリリースし、米国市場トップ10入りした『Reign of Dragons』を国内向けにローカライズして提供を開始。iOS、AndroidそれぞれのOSに対応して提供しています。



6月 『ちよこっとファーム』が ガチャピン・ムックとコラボ

女性を中心に長く愛され続けている農園育成ゲーム『ちよこっとファーム』ではガチャピン・ムックをはじめ、ロディ、タマ&フレンズなど人気のキャラクターと期間限定でコラボレーションしています。



7月 ソーシャルラーニングアプリ上の 累計解答数が6億問を突破

『えいぼんたん』を中心に提供中の3アプリ上で解かれた英単語問題の累計が6億問を突破。その後も引き続き伸び続け、一月弱で1億問が解かれるペースに。今は10億問を大きく超えてきています。



8月 人気の『ちよこっとファーム』を 電子コミック化

『ちよこっとファーム』がこの8月に電子コミック化したほか、『陰陽師』も同時期にゲームの世界観を元に小説化、コミック化しています。ユーザーに愛されるキャラクターをゲーム外へ展開しています。



9月 『ファンタジスタドール ガールズロワイヤル』 リリース

TVアニメとして放映された「ファンタジスタドール」の世界観をそのままにiOS向けゲームとして提供を開始しました。オリジナルのキャラクターや豊富なキャラクターボイスを楽しめる内容となっています。



会社概要・株式情報

会社概要 (2013年9月30日現在)

商号	株式会社ドリコム
本社所在地	〒153-0064 東京都目黒区下目黒1丁目8番1号 アルコタワー17階
設立	2001年11月13日
資本金	1,087百万円
代表取締役社長	内藤裕紀
従業員数	239名
主な事業内容	・モバイル/PC向けのエンタメコンテンツの企画・提供 ・マーケティングソリューションの開発・提供

役員 (2013年9月30日現在)

代表取締役社長	内藤	藤	裕	紀
取締役副社長	菅	原	勇	祐
取締役	川	村	勇	夫
取締役	長	谷	敬	起
取締役	石	川	智	哉
常勤監査役	南		敬	三
監査役	杉	本	一	志
監査役	青	木	理	恵
上席執行役員	後	藤	英	紀
執行役員	廣	瀬	敏	正
執行役員	古	屋	基	親

- (注) 1. 取締役石川智哉氏は、社外取締役であります。
2. 監査役南敬三氏、監査役杉本一志氏、監査役青木理恵氏は、社外監査役であります。

株式の状況 (2013年9月30日現在)

発行可能株式総数	217,600株
発行済株式の総数	137,100株
株主数	5,902名

大株主 (上位10名) (2013年9月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
内藤裕紀	53,900	39.31
楽天株式会社	26,750	19.51
小上勝造	5,710	4.16
廣瀬敏正	5,468	3.99
井上陽平	3,560	2.60
資産管理サービス信託銀行株式会社(ESOP信託口)	2,332	1.70
MSCO CUSTOMER SECURITIES (常任代理人 モルガン・スタンレーMUFJ証券株式会社)	1,171	0.85
小柳 滋	950	0.69
齊藤雄介	800	0.58
山口憲一	701	0.51

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡下さい。

株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法	当社のホームページに掲載する。 http://www.drecom.co.jp/ir/announcement/
上場証券取引所	東証マザーズ

ホームページ/IR情報のご案内

当社に関する最新動向や情報をお伝えしております。



<http://www.drecom.co.jp/>